

# 地域内 GDP に注目した都市経営についての研究

大阪成蹊大学

田村匡

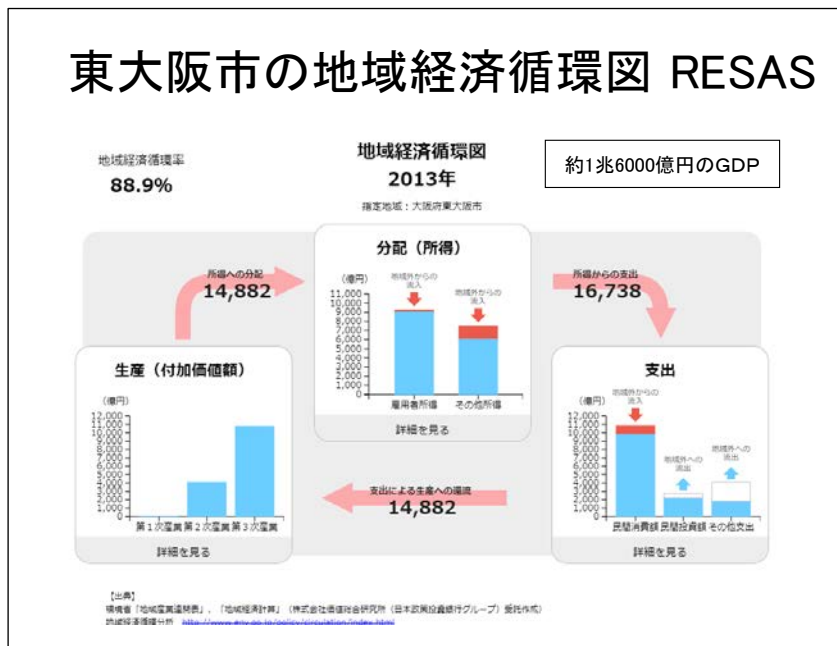
【キーワード】地域内 GDP、地域経済分析、都市経営手法

## 1.研究の背景

- 国連や日本全国のレベルでは、GDP(国内総生産)は、経済指標の中でも最重要なものとして注目しており、世界や日本国の政策に強い影響を及ぼしている。
- しかし、地域を限定した GDP※(以下「地域内 GDP」という)については、市町村レベルではほとんど誰も注目していない。
- イベントや観光の政策決定には、その経済的な効果が重要な指標となる。そのためには地域内 GDP の観点なくして経済的な効果測定ひいては政策立案/決定は困難である。
- 市町村の「地域内 GDP」に関するデータも限定され、算出方法も未整備であったが、2015 年に内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が公開した RESAS システムにより簡単に閲覧することが可能となった。
- このようにシステム等も整備されてきているが、その社会的メリットや、理論、計測方法、(その観点到立った)都市経営を行う組織など未だ多くの課題がある。
- 地域内 GDP に注目した都市経営についての包括的な研究が必要である。

※ GDP という用語をそのまま使うことには問題があるが、GDP の考え方をそのまま踏襲して市町村レベルに適用し、それを「地域内 GDP」と言うこととする。

※ 地域経済分析システム(RESAS)とは、経済産業省と内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)が提供するシステムで 2015 年から一般に供用されている。



## **2.研究の目的と方法**

### 2.1 研究の目的

- 1) 地域内 GDP に注目した都市経営の課題について系統的に整理する。
- 2) 各々の課題について、解決の方向性を示唆する。

### 2.2 研究の方法

- 1) 既存の地域経済に関する文献等を資料として考え方、理論等を整理する。
- 2) ネット上の公共団体等の発表資料をもとに検討する。

## **3.研究結果の概要**

### **A) 社会的メリット**

- イベントや観光等の効果測定には、一般的に経済波及効果等の指標が使用される。経済波及効果は、地域内の生産額や付加価値額(GDP)の増加額等を計算し、地域に対する影響を表している。
- 現状では、地域 GDP に注目した都市経営はなされていないため、イベント等の経済波及効果については、一部マスコミ等に取り上げられるものの、定量的チェック等が行われず、政策効果が曖昧なまま放置されている。

① イベント等の政策効果が明確となり、地域内の投資へと繋がる。

② 民間企業等も含めた地域の経済循環が明らかとなり、地域活性化へと繋がる。

### **B) 理論**

- 地域内 GDP に注目した都市経営の基本となる理論は、基本理論としてはマクロ経済学を援用したものがある。
- また、近年、日本国内においても様々な地域経済分析手法が開発されてきており、それらを紹介する。

[基本的理論]

- 三面等価の原則; マクロ経済学  
GDP(生産面) ≡ GDP(分配面) ≡ GDE(消費面)
- 産業連関分析; W.レオンチェフ

[日本における最近の研究]

- 地域内再投資力(岡田知弘)
- 地域経済循環分析(価値総合研究所)
- 地域経済構造分析(中村良平)

### **C) 組織等**

地域内 GDP の関係者は、地方公共団体だけではなく、民間企業等や住民、業務や観光に来ている人々等など、広範にわたる。そのため、観光協会や DMO、スポーツコミッション等の組織がその経営主体としての候補となるものと考ええる。